

かねがさきちょう 金ヶ崎町を紹介します



金ヶ崎町キャラクター
アースくん、パーラちゃん、ガースくん

いざわ
金ヶ崎町は、岩手県南西内陸部の胆沢郡北部に位置し、北は北上市、東は北上川を境として奥州市江刺区、南は胆沢川を境として奥州市水沢区、南から西にかけては奥州市胆沢区と接しています。

地勢は、西部の奥羽山系の駒ヶ岳を有する山岳高地から東部の平坦地との間に1,300m以上の標高差があり、西から東にかけて緩い傾斜となっています。

基幹産業の農業は、駒ヶ岳の東側に広がる肥沃な扇状地帯で米、野菜、花卉の栽培が盛んです。西部山麓地帯では広大な牧草地を活用した酪農や大型畜産が行われています。

工業は、県内最大の工業団地を有し、医薬品、半導体、自動車組立工場を含む自動車関連企業などが立地しています。製造品出荷額は岩手県市町村のトップクラスで、東北の市町村の中においても10番目の製造品出荷額を有し、地域経済の発展や雇用機会の創出に貢献しています。



金ヶ崎町
岩手県

町章	町の花(サツキ)	町の木(スギ)	町の鳥(ヤマドリ)
<p>昭和30年、金ヶ崎町・永岡村が合併したことにより、新金ヶ崎町にふさわしい町章として制定されました。カネガサキの「カ」、ナガオカの「ナ」をデザインしたものです。</p>			



岩手中部工業団地



侍屋敷大松沢家（重要伝統的建造物群保存地区）



千貫石ため池と駒ヶ岳



千貫石地区の南部茅



金ヶ崎町と 友好交流都市協定を締結



12月22日（木）、大衡村では、他自治体との初めての友好交流都市協定となる、岩手県金ヶ崎町との友好交流都市協定締結式が金ヶ崎町役場で行われました。

締結式には、萩原村長、細川運一村議会議長、布施恭次行政区長会長はじめ8名が出席し、金ヶ崎町の高橋由一町長と萩原村長が協定書に署名し、相互の特産品として地酒の交換が行われました。

萩原村長は、「良いところを学び合い、協力し合い、助け合い、時には競い合い、切磋琢磨しながら結び付きをより一層強く豊かなものにし、それぞれの地域が発展していくようお互いに頑張りたい」、高橋金ヶ崎町長は、「共通の企業立地が縁で培われた親善が一層深まり、発展につながる。子どもたちや住民同士の交流も行いたい」と挨拶、さらなる交流が約束されました。

友好交流都市締結の経緯

平成24年7月、大衡村のセントラル自動車株式会社と金ヶ崎町の関東自動車工業株式会社などが統合しトヨタ自動車東日本株式会社となったことがきっかけで、企業関係者の往来や、自治体同士の情報交換をする機会が増加しました。

昨年5月からは、友好関係の具現化に向けた懇談を進め、今回の締結となりました。



協定書

宮城県大衡村と岩手県金ヶ崎町は相互の信頼と尊敬を礎とし、共に同じ自動車製造企業が立地していることの縁により、互いの連携を図りながら、災害時の相互応援をはじめ、産業、経済、文化、スポーツ、教育、芸術など幅広い分野における交流を通じて、相互の信頼と理解を深め、これまでの友好関係をさらに推進するため、友好交流都市協定を締結する。